

常葉大学の合同説明会で自衛隊の魅力を発信



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、2月12日（水）に常葉大学水落キャンパス、20日（木）に同大草薙キャンパス（ともに静岡市）で行われた「公務員関係学内合同業務説明会」に参加して、自衛官の仕事を紹介した。この説明会には、県内外からさまざまな職種の公務員が集まり、公務員に興味を持つ学生が会場を訪れた。

開設した自衛隊ブースでは、将来組織のリーダーとなる一般幹部候補生や、スペシャリストとして組織の柱となる一般曹候補生、さらに通常は社会人や学生でありながら、大きな災害発生時などに自衛官に任命されて各種活動に従事する予備自衛官補も紹介。それぞれの具体的な採用試験情報についても解説した。

今回は特に、自衛隊内でのキャリア・パスの流れや、生活する上で気になる福利厚生についてクローズアップ。女性戦闘機パイロットや女性イージス艦長の誕生をはじめ女性隊員の活躍の場が広がっている状況や、男性隊員の育児休業取得の推進、自衛隊施設内に託児所を開設するなど、ワークライフバランスへの取り組みを紹介した。

学生からは「どのようにしたら希望の職種に就けるのか」「実際の程度の体力が必要なのか」と積極的に質問が寄せられ、広報官が一つひとつ丁寧に答え、不安の解消に努めた。

学生らは「女性がこんなに自衛隊で活躍しているとは知らなかった」「福利厚生がとても厚い印象を受けた」と話していた。

静岡地本は、各大学で開催される就職説明会に積極的に参加し、自衛隊の魅力を多くの学生に伝え、職業選択の第一目標となるよう努めていく。

静岡市と自衛隊協力諸団体が自衛隊への入隊・入校者を激励



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は2月23日（日）、静岡市ふれあいホールにおいて行われた「静岡市自衛隊入隊入校激励会」を支援した。

これは、静岡市、同市商工会議所、同市自衛隊協力会、清水自衛隊友の会が合同で開催したもの。今春入隊・入校予定の55人とその家族が招かれたほか、各区自治会連合会長、募集相談員中部連絡会長及び静岡・清水自衛隊家族会各会長などが来賓として参列し、若者の輝ける未来を祝福した。

激励会は2部構成で行われ、第1部では、入隊予定者の名前と陸海空の採用種目を一人一人紹介し、彼らの希望に満ち溢れた眼差しが参列者に披露された。また、主催者を代表して田辺信宏静岡市長、自衛隊を代表して宮川知己静岡地本長から、郷土の代表としてこれからの奮起を期待した激励の言葉が送られた。

そして激励会開催に対する謝辞として、陸上自衛隊へ幹部候補生として入隊予定の太田智輝さんが「国を守る自衛官となること、そして一人の社会人となることを自覚し、今日まで注いでいただいた愛情を今後は社会に恩返しするつもりで頑張っていきたい」と、両親をはじめ育んでくれた故郷への感謝を述べた。

第2部は、航空自衛隊浜松基地に勤務する航空自衛官で構成された「浜松龍武太鼓」が、一糸乱れぬパチさばぎで迫力ある太鼓演奏を披露し、和太鼓のエネルギーがホール全体を包み込んだ。曲の合間で太鼓部のリーダーから「みんな一つとなって共に頑張ろう。決して一人じゃないから」とエールが送られ、入隊予定者の新たな門出を祝福した。

静岡地本はこれからも、入隊入校予定者の不安の払拭に努めるとともに、家族へのサポートも積極的に行っていく。